

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	
剰余金の配当	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル共通)
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 〈電子公告掲載URL〉 http://www.asgent.co.jp/



Asgent 株式会社 アズジェント

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 19-7
19-7 Nihonbashi-Koamicho Chuo-ku, Tokyo 103-0016 Japan
Phone:03-5643-2581
URL:<http://www.asgent.co.jp/>

JASDAQ
証券コード：4288

One Step Ahead of The Game
Asgent
アズジェント

株式会社 アズジェント
第14期 中間報告書
2010年4月1日～2010年9月30日

FINANCIAL HIGHLIGHT

財務ハイライト

第2四半期決算

単位(百万円)

経営成績	当第2四半期累計 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	2,127	1,833
営業利益	232	206
経常利益	231	206
四半期純利益	187	227
1株当たり四半期純利益(円)	4,732.37	5,759.03
1株当たり年間配当金(円)	—	—

財政状態	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期実績 (平成21年3月31日現在)
純資産	1,733	1,565
総資産	2,418	2,464
1株当たり純資産額(円)	43,784.92	39,545.70

通期見通し	通期見通し (平成23年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期実績 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	4,500	3,988
営業利益	438	437
経常利益	444	444
当期純利益	444	415
1株当たり当期純利益(円)	11,221.11	11,704.83

(注) 本中間報告書中において百万円及び千円単位で表示している金額は、単位未満を切り捨てております。

POINT

■第2四半期決算で過去最高水準の業績

セキュリティ関連商品及び商品組合せ型サービスの販売が堅調に推移したことにより、当初公表した業績予想(平成22年5月13日公表)を上回り、売上高、営業利益、経常利益で過去最高を計上。

■業績予想

当第2四半期の業績は当初予想を上回りましたが、景気の先行に不透明感が尚強いことなどを勘案し、当初公表の業績予想を据え置きます。

■配当金につきまして

1株当たり期末配当金500円を予定。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今般、第14期中間報告書(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期におけるわが国の経済は、中国をはじめとしたアジア圏を中心に輸出が好調に推移したこともあり、製造業を中心に企業業績回復の動きが見られました。また、個人消費は景気刺激策として実施された減税等を背景にマインドの持ち直しの兆しが見られましたが、デフレ局面にあることから本格的な景気回復には至っていない状況が継続しております。

このような経営環境の下、当社は平成9年の設立以来、セキュリティ商品と、それらに関連するサービスの提供を事業の中核としながら、現在では仮想化/クラウドコンピューティング分野の商品販売並びに関連するサービスの提供を行っております。

また、『社員一人一人がエンパワーされた「自由、公平、柔軟かつ迅速」な環境の下、「責任、信頼、革新と結果」を具現化できるグローバルな企業文化を目指す』というミッションステートメントに基づき、企業業績を最大化させることに努めてまいりました。

前述の通り、依然として先行きが見通せない経済環境ですが、当社におきましては、セキュリティ関連商品及び商品組合せ型サービスが堅調に推移したことにより、業績を伸長させることができました。

今後は「セキュリティ」及び「仮想化/クラウドコンピューティング」というキーワードの下に、一層の業容拡大と業績向上により企業価値の増大を実現し、株主のみなさまの信頼とご期待に沿えられるよう社業に邁進する所存でありますので、何卒、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長

杉本 隆洋

OUR STRATEGIES

経営戦略

中期的な経営戦略

当社は、セキュリティ・ポリシーの策定、支援から個々のセキュリティ対策までを総合的に提供するセキュリティ・ソリューション・ベンダーです。セキュリティ関連商品並びに仮想化／クラウドコンピューティング関連商品の販売、それら商品と組み合わせたコンサルティングや設計、構築支援、保守等のサービスという2つの事業を経営の中心に据えております。

今後はセキュリティ分野で培った多様なノウハウを活かしながら、仮想化／クラウドコンピューティング分野でも事業展開していくことで、次世代に訪れるニーズや技術を具現化し、継続的な成長の実現と企業価値の増大を図るべく努力を重ねてまいります。

以上の方針に基づき、①「商品販売事業による収益基盤の強化」及び②「商品組み合わせ型サービス事業による高付加価値ビジネスの追求」を当社の主要戦略と位置付け、それぞれ具体的な戦術を実施してまいります。

① 商品販売事業による収益基盤の強化

現在の収益を支えているファイアウォールをはじめとしたセキュリティ関連商品は当社の重要な収益基盤です。これらセキュリティ関連商品の販売では高い実績があり、販売代理店及びエンドユーザーからの高い信頼を得ております。既存販売代理店へのよりきめ細やかなサービスを提供することで、より良好な関係を構築し、更に新規販売代理店を積極的に開拓していくことで、当社の位置付けをより強固なものとし、ます。

また、現在大きな関心が寄せられている仮想化／クラウドコンピューティング関連商品の販売強化も推し進めてまいります。仮想化／クラウドコンピューティングはITにおける重要なキーワードであり、当社がこれまで培ってきた多様なノウハウを活かすことで、今後更なる成長を牽引できるよう強化してまいります。

② 商品組み合わせ型サービス事業による高付加価値ビジネスの追求

商品組み合わせ型サービス事業は、当社が取り扱うセキュリティ関連商品及び仮想化／クラウドコンピューティング関連商品の販売に、付加価値の高いコンサルティングや設計、構築支援、保守といったサービスを組み合わせ提供することです。

当社は、これまでファイアウォールをはじめとしたセキュリティ関連商品の保守サービスの提供やISO27000シリーズとしてISO化された情報セキュリティマネジメントの認証制度（ISMS認証）対応をはじめとしたコンサルティングやトレーニングの提供に高い実績があります。

これらのサービスを商品提供も含めて組み合わせることで、今後一層多様化、複雑化していく顧客のニーズに応えることが可能になります。それが他社との差別化を図ることになり、商品販売事業への波及効果と、相乗効果による商品組み合わせ型サービス事業そのものの収益力向上を図ってまいります。

SALES ACTIVITIES

当第2四半期の概況

① 当第2四半期の概況

当第2四半期におけるわが国の経済は、中国をはじめとしたアジア圏を中心に輸出が好調に推移したこともあり、製造業を中心に企業業績回復の動きが見られました。また、個人消費は景気刺激策として実施された減税等を背景にマインドの持ち直しの兆しが見られましたが、デフレ局面にあることなどから本格的な景気回復には至っていない状況が継続しています。

ネットワークセキュリティ市場の動向としましては、企業の全般的なIT投資は依然として厳しい状況が続いているものの、仮想化をはじめとしたITコスト削減や運用管理効率化を目的とした分野への関心は高まりを見せております。

このような環境の下、当社は昨年度より引き続き仮想化／クラウドコンピューティング関連をはじめとしたネットワークセキュリティ関連商品の販売及びそれらを組み合わせたコンサルティングやアセスメント、設計、構築支援、保守、運用などといったサービスの拡販に努めてまいりました。

通期の見通し

当社の第2四半期の業績は当初予想を上回る結果となりましたが、円高やデフレ等の影響による景気の不透明感が尚強いことから、企業のIT投資動向は慎重な姿勢が続くことが予想されますので、現時点では平成22年5月13日に公表しました通期業績予想の通り、売上高は対前期比12.8%増の4,500百万円を、営業利益は438百万円、経常利益は444百万円、当期純利益は444百万円と対前期比で同水準を見込んでおります。

尚、業績予想は当社が現時点で入手可能な情報及び当社が合

② 財務状態及び経営成績の分析

当第2四半期の売上高は2,127百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は232百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益は231百万円（前年同期比12.0%増）、四半期純利益は187百万円（前年同期比△17.6%減）となりました。これは、セキュリティ関連商品及び商品組合せ型サービスの販売が堅調だったことによるものです。

また、当第2四半期末の総資産額は2,418百万円となり、前事業年度末に比べて47百万円減少しました。これは、売掛金が345百万円減少、前渡金が304百万円増加したこと等によるものです。負債額は684百万円となり、前事業年度末に比べて215百万円減少しました。これは、買掛金が48百万円、短期借入金が50百万円、未払金が93百万円減少したこと等によるものです。純資産額は1,733百万円となり、前事業年度末に比べて168百万円増加しました。これは、四半期純利益の計上187百万円と、利益剰余金を19百万円配当したことによるものです。

理的であると判断するデータに基づいて行っておりますが、作成に使用したデータは不確定要素を含んでいること及び当社を取り巻く経済環境や市場動向の変化が起り得る等の理由により、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

FINANCIAL DATA

決算概要

四半期貸借対照表 (要旨)

単位 (千円)

科目	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,969,936	2,037,007
固定資産	448,282	427,911
有形固定資産	193,922	197,294
無形固定資産	31,131	35,929
投資その他の資産	223,229	194,687
資産合計	2,418,219	2,464,918

単位 (千円)

科目	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	580,649	763,852
固定負債	103,906	135,253
負債合計	684,555	899,106
純資産の部		
株主資本	1,735,707	1,568,126
資本金	771,110	771,110
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	259,397	91,816
評価・換算差額等	△2,553	△2,315
その他有価証券評価差額金	△2,553	△2,315
新株予約権	510	—
純資産合計	1,733,664	1,565,811
負債純資産合計	2,418,219	2,464,918

四半期損益計算書 (要旨)

単位 (千円)

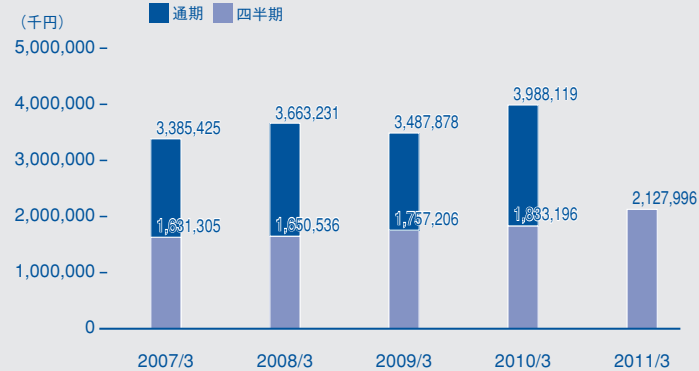
科目	当第2四半期累計 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	2,127,996	1,833,196
売上原価	1,293,310	1,047,911
売上総利益	834,685	785,285
販売費及び一般管理費	601,834	578,802
営業利益	232,850	206,483
営業外収益	1,345	3,755
営業外費用	2,465	3,412
経常利益	231,730	206,826
特別利益	27	8,438
特別損失	102	3,133
税引前四半期純利益	231,655	212,132
法人税、住民税及び事業税	35,793	1,145
法人税等調整額	8,484	△16,408
四半期純利益	187,378	227,395

四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

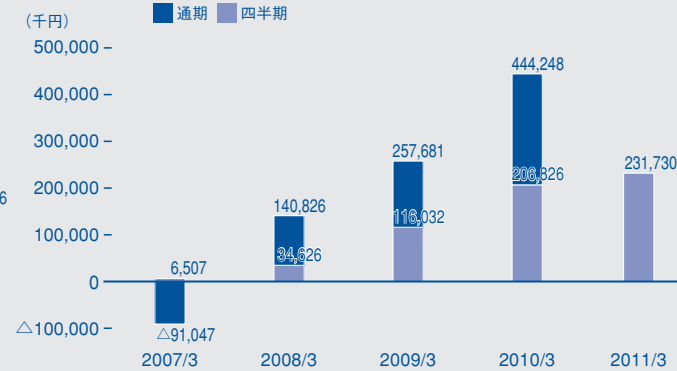
単位 (千円)

科目	当第2四半期累計 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,891	164,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,978	△59,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,441	△246,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△371	0
現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)	6,100	△141,971
現金及び現金同等物の期首残高	736,598	784,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	742,698	642,225

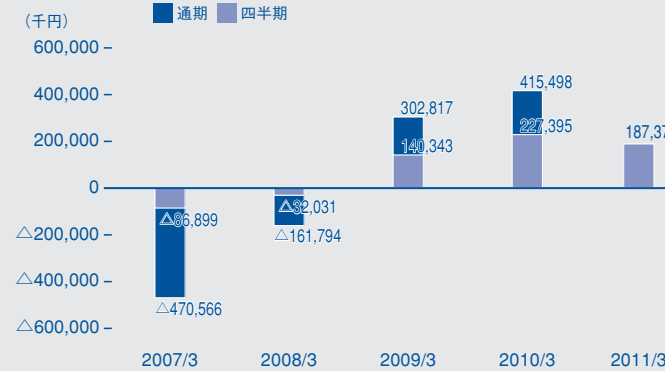
売上高



経常利益



四半期 (当期) 純利益



2010年9月

- リコー、ShadowProtectを「LANフォルダ2」のクライアントPCバックアップツールとして採用⑥

2010年9月

- イメージバックアップソフトShadowProtectの公式オンラインストアをオープン

2010年5月

- 西日本支社を開設、地域密着型の営業、サービスを提供

2010年3月

- チェック・ポイント社UTM製品を中小規模企業及び地方拠点向けに販売④

2010年3月

- 日立製作所がイメージバックアップソフト「ShadowProtect」を日立サーバ仮想化機構Virtageへの移行ツールとして採用

2010年1月

- チェック・ポイント社より「Most Outstanding Partner」を受賞

2010年1月

- HP APJ WorldCup 2009で「Partner Excellence Award」を受賞

2009年10月

- 日本HP社とデータセンター自動化分野において協業⑤

2009年5月

- チェック・ポイント社がノキアのセキュリティアプライアンス部門との統合により新しいアプライアンス製品を発表。

A

Check Point UTM-1

豊富なセキュリティ機能により、包括的かつマルチレイヤの防御機能を提供するUTM（統合脅威管理）アプライアンス



UTM-1アプライアンスには、ファイアウォール、IPS（侵入防御）、アンチウイルス、アンチスパム、URLフィルタリング、Webセキュリティといったさまざまなセキュリティ機能が搭載されています。

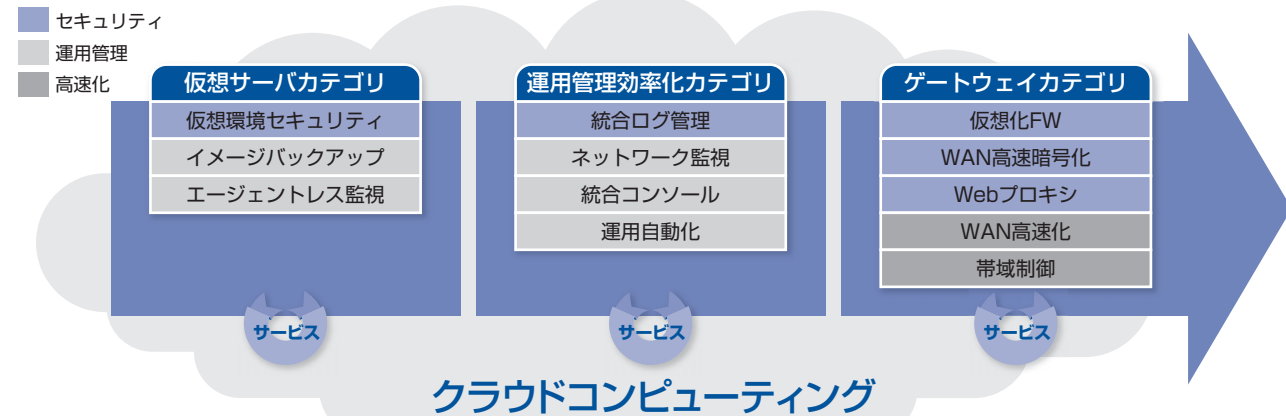
また新しいハードウェアを導入することなく、必要に応じて自由にセキュリティ機能を追加導入することが可能であり、悪意あるインターネット上の脅威に対して包括的かつマルチレイヤの防御機能を提供するUTM（統合脅威管理）アプライアンスです。

特長

- セキュリティ機能や管理機能があらかじめ導入されており、更にオプションのセキュリティ機能を追加して拡張することで、セキュリティ要件に素早く簡単に対応
- チェック・ポイントの複数のゲートウェイを単一のコンソールから集中管理できる統合管理ソリューションを標準搭載
- UTM-1アプライアンスもしくは、既に使用しているセキュリティ管理サーバから、複数のゲートウェイを管理することが可能
- IPSなどの防御機能に対してアップデートが継続的かつ自動的に提供されるため、新しい攻撃からもネットワークを確実に保護することが可能
- 初期設定がウィザード形式で行われるためわずか10分程でセットアップ可能



アズジェントの仮想化／クラウドソリューション



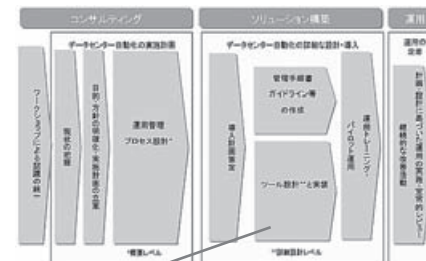
B

HPデータセンター自動化ソリューション



日本HPの提供する「HP Data Center Automation Center」は、データセンター管理のライフサイクル全体を自動化することにより、複雑な環境でも高品質なサービスを低コストで実現できます。

一方、アズジェントはITILに基づく上位コンサルティングサービスを提供し、最適なデータセンター設計を支援するとともに、日本HPとの協業によるアセスメントサービスを通じてデータセンター自動化のソリューション構築サービス、導入後の保守サポートを提供いたします。



- HP Operations Orchestration Software
- HP Network Automation Software
- HP Server Automation Software
- HP Universal CMDB Software

C

ShadowProtect STORAGECRAFT

高速・簡単イメージバックアップ、仮想化移行ツール



- HDDを丸ごとバックアップ
OS、アプリケーション、データ及びそれらの設定情報を丸ごと、高速＆確実にバックアップ
- ノンストップでのバックアップを実現
独自スナップショット技術により、シャットダウンできないシステムにおいてもオンライン・バックアップ可能
- ハードウェアの機種に依存しない復元
独自HIR機能により、取得したバックアップデータを他サーバへ復元可能。機種切り替えや仮想化移行にも対応
- 仮想環境への移行対応（P2V）
Hyper-V 2.0やVMwareなどの仮想環境へも、HIRを活用し移行可能。コンバージョンレスにより、高速移行を実現

STOCK INFORMATION

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数 136,800株

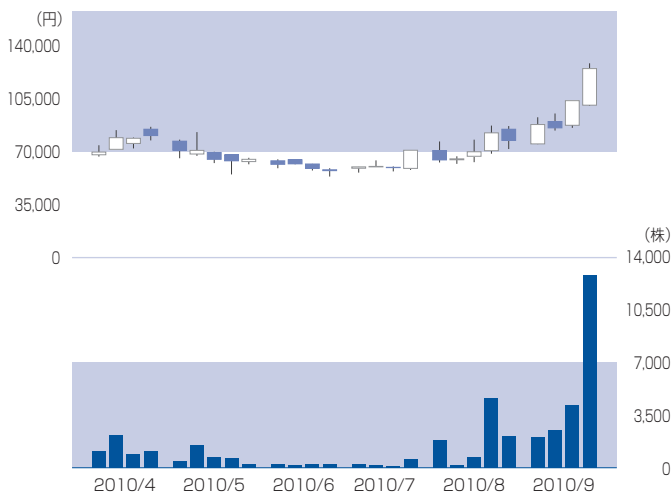
発行済株式総数 39,595株

株主数 2,729名

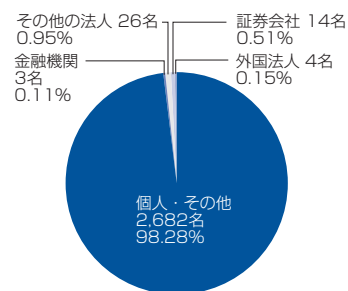
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
杉本隆洋	21,024	53.09
みずほキャピタル株式会社	810	2.04
株式会社オービックビジネスコンサルタント	636	1.60
楽天証券株式会社	430	1.08
日本証券金融株式会社	411	1.03
山内健至	400	1.01
和田成史	315	0.79
大村龍則	235	0.59
櫻山徳次	207	0.52
高木貢	197	0.49

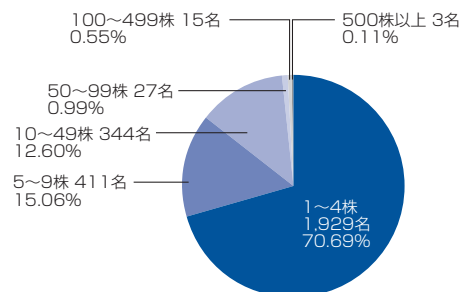
株価チャート (週足)



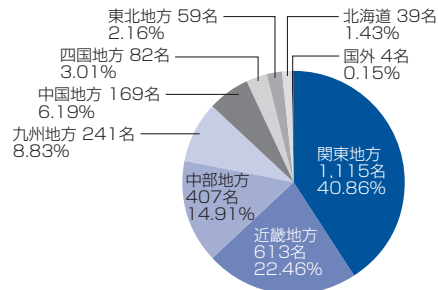
所有者別株主分布状況



所有数別株式分布状況



地域別株主分布状況



CORPORATE DATA

会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号 株式会社アズジェント
 英文名 Asgent, Inc.

住所 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町19-7
 設立 1997年11月10日
 資本金 7億7,111万円
 従業員数 86名
 事業内容 ネットワークセキュリティ関連商品の輸入販売及び保守、各種セキュリティ関連サービスの提供並びにセキュリティ・ポリシー策定運用支援コンサルティングやトレーニングの開催等

役員

代表取締役社長 杉本隆洋
 取締役 花澤和美
 取締役 與田浩
 取締役 森本昌夫
 監査役 斎藤潔
 監査役 宮野尾幸裕
 監査役 鈴木一郎



IR CALENDAR

IR・株式カレンダー

